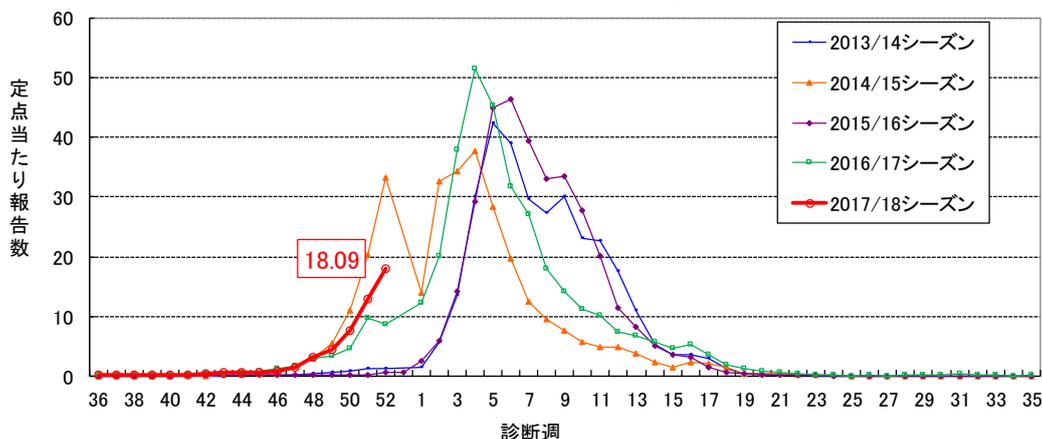


【今週の注目疾患】

【インフルエンザ】

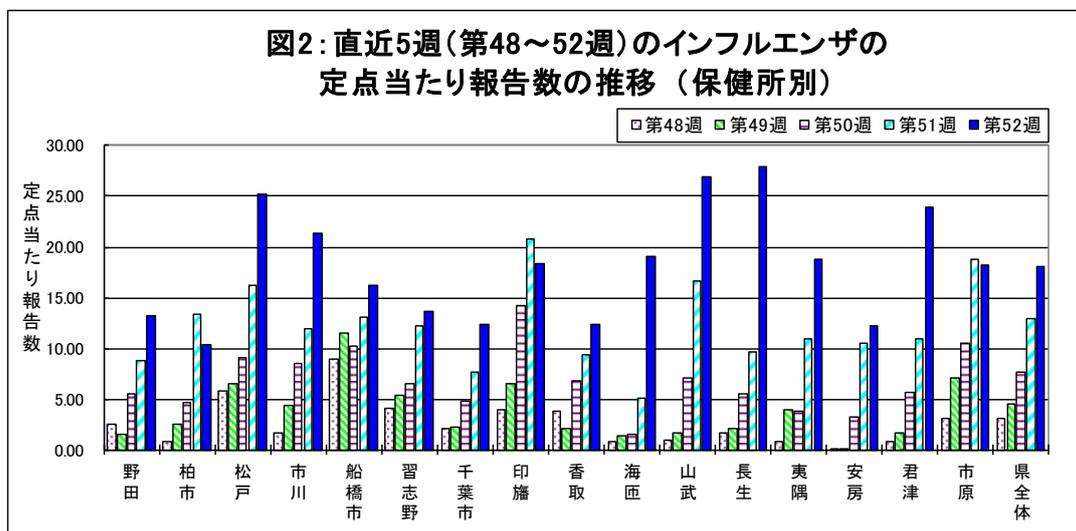
2017年第52週の県内定点医療機関から報告されたインフルエンザの定点当たり報告数は18.09(人)となり、前週(13.01)より増加した。(図1)。

図1: 2013～2017年第52週に県内定点医療機関から報告されたインフルエンザの定点当たり報告数の推移(シーズン別)



県内16保健所管内(千葉市、船橋市および柏市含む)のうち、13保健所管内において前週より報告が増加し、県レベルでの定点当たり報告数(18.09)を超える保健所管内は、報告の多い順に長生(27.86)、山武(26.86)、松戸(25.25)、君津(23.88)、市川(21.40)、海匝(19.14)、夷隅(18.80)、印旛(18.33)、市原(18.22)であった(図2)。

図2: 直近5週(第48～52週)のインフルエンザの定点当たり報告数の推移(保健所別)



第52週に県内定点医療機関の協力によるインフルエンザウイルス迅速診断結果の報告では、A型が58.8%、B型が40.8%であった(0.2%はA型とB型両方陽性、0.3%はA型もしくはB型に陽性)。